

# 平成29年度 強化方針

## 1. 基本施策

- (1) 2巡目国体の遺産を引き継ぎ、長期的視野に立った選手、指導者の育成を推進する。
- (2) 国体、全国高校総体、全国中学、全国ホープス等出場選手の技術向上をはかる。
- (3) 小学生、中学生、高校生選手の育成に重点をおき、「学校、登録クラブ、スポ少などの母体チームとの連携」を強化し一貫した主旨に基づき強化に取り組む。

## 2. 施策

- (1) 特に普及、強化する対象年代は、小学生低学年とするがバランスも重視する。
- (2) 強化合宿は練習会形式（日帰り）と県外遠征を効率よく実施する。
- (3) 強化事業は、選手所属の母体チーム監督、コーチ、保護者の理解を得る。
- (4) 強化費は、効果的な配分を重視し、事前の計画立案を綿密に行う。

## 3. 目標等

- (1) 国体5位以上の入賞および東北総体（ミニ国体）優勝。
- (2) 全国高校総体、全国中学総体、全国ホープス及び選抜大会、の第3位以上。
- (3) そのほかの関連する各種大会の上位入賞。

## 4. 施策のポイント

- (1) 県外遠征に重点をおいた事業計画。
- (2) 県内練習会の実施においては、効果的な企画実施。
- (3) 県外強豪チーム・選手の情報収集と分析。

## 5. 競技者育成プログラム（平成22年度版）に基づく取り組み

岩手県教育委員会事務局 スポーツ健康課内

第71回国民体育大会岩手選手強化本部事務局へ提出

・平成23年2月22日付策定（同日付：強化委員書面決議）

## 6. 強化委員会の設置

### (1) 取り組みの考え方

- ① これまではいわて国体に向けた強化を特に重要視してきたが、今後は小・中・高のバランスを考慮した取り組みとする。
- ② 強化施策は、短期（1・2年）、中期（3～5年）長期（6年～8年）に区別して方針を策定する。
- ③ 短期は、29～30年度ミニ国体、本国体に向けた強化を中心に、各カテゴリーの全日本大会等での上位進出を目指す施策、取り組みを行う。
- ④ 中期は、3～5年後のミニ国体、国体を見据えた強化と、優秀指導者の育成、ク

ラブチームの育成（特に小学生チーム）、登録者の拡大・普及に資する取組み等を行う。

- ⑤ 長期は、優秀指導者の育成、クラブチームの育成、登録者の拡大・普及、人材の育成などに取組み、国体をはじめとする全日本大会のメダル獲得を目指す。

(2) 組織体制

- ・会 長 強化部長      ・副 会 長 強化担当副会長
- ・理事長 強化委員長   ・副理事長 強化副委員長
- ・委 員 高体連、カデット委員会、ホープス委員会、社会人委員会、審判委員会、レディース委員会から各1名から2名選出する。

(3) 強化事業等

- ・県教委からの強化費予算による、従来の強化合宿、県外遠征などを実施する。
- ・新たな取組としては、強化費の捻出も含め今後の強化委員会で協議し決定する。
- ・強化事業等を実施する際は、各委員会とのタイアップ実施も検討する。

7. 強化費の捻出

- ・新たな強化方針に基づき強化費の捻出が必要である。

8. 29年度計画

(1) 29年度岩手県私立高等学校重点強化校の指定

指定校 専大北上高等学校 卓球部男子

\*（公財）岩手県体育協会が定める指定基準に合致しており、本卓球協会が推薦することによるものです。

(2) ミニ国体・国体監督

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① 成年男子 新 沼 興 隆 | ② 成年女子 細 川 健 治 |
| ③ 少年男子 野 田 春 輔 | ④ 少年女子 小 坂 信 彦 |

(3) 強化事業計画

\*具体的な強化事業計画を含む新たな取組み計画案については、今後の強化委員会にて協議し決定する。